



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月10日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年2月期第3四半期 | 123,162 | 13.3 | 3,696 | 1.4 | 4,043 | 4.1 | 2,136 | 21.0 |
| 25年2月期第3四半期 | 108,751 | 9.7 | 3,644 | 23.9 | 3,883 | 20.9 | 1,765 | — |

（注）包括利益 26年2月期第3四半期 2,673百万円（20.6%） 25年2月期第3四半期 2,217百万円（119.7%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期第3四半期 | 76.29 | — |
| 25年2月期第3四半期 | 63.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年2月期第3四半期 | 83,521 | 42,309 | 45.6 |
| 25年2月期 | 72,224 | 40,631 | 50.3 |

（参考）自己資本 26年2月期第3四半期 38,107百万円 25年2月期 36,324百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| | 第1 四半期末 | 第2 四半期末 | 第3 四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年2月期 | — | 12.00 | — | 12.00 | 24.00 |
| 26年2月期 | — | 13.00 | — | — | — |
| 26年2月期(予想) | — | — | — | 13.00 | 26.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 155,000 | 4.7 | 5,200 | 0.6 | 5,600 | 0.1 | 2,600 | 3.7 | 92.84 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 26年2月期3Q | 32,267,721株 | 25年2月期 | 32,267,721株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年2月期3Q | 4,263,985株 | 25年2月期 | 4,262,084株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 26年2月期3Q | 28,004,847株 | 25年2月期3Q | 28,007,108株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する情報 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府の景気浮揚策が奏功し、景気は持ち直しつつあるように見られます。しかしながら、当食肉業界におきましては、原料価格の高騰にも関わらず、消費者の低価格志向のため売価への転嫁が難しい状態が続き、全般に厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、利益率の低下に対応した営業施策とコスト低減と利益の最大化を目指した食肉事業の垂直統合を推進して、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、近年強化しつつある牛・豚の生産事業拡大の継続、得意先との関係強化による販売網の充実に取り組んでおります。また、グループ間企業の協力促進による事業開発も進めております。さらに、秋冬シーズンの到来にあわせて、定番の「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズや「スタミナ食堂煮込み」シリーズ、「アルミ鍋」シリーズをリニューアル発売しました。食肉等の小売及び外食事業においては、小売部門にあつては、新規ディベロッパとの取り組みによる出店や既存店活性化活動の継続、提案型販売の強化等を進め、外食部門にあつては、特にステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策として期間限定メニューやマーケティング強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,231億6千2百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益36億9千6百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益40億4千3百万円（前年同四半期比4.1%増）、四半期純利益21億3千6百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,014億2千6百万円（前年同四半期比16.5%増）、セグメント利益は35億2千万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は148億7千1百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は5億8千7百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は57億4千万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は3億4千3百万円（前年同四半期比45.6%増）となりました。

④その他

売上高は11億2千3百万円（前年同四半期比0.0%減）、セグメント利益は7千2百万円（前年同四半期比728.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて112億9千7百万円増加し、835億2千1百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて96億1千8百万円増加し、412億1千1百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて16億7千8百万円増加し、423億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年4月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,889 | 14,380 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,727 | 19,621 |
| 商品及び製品 | 6,369 | 10,362 |
| 仕掛品 | 2,609 | 3,222 |
| 原材料及び貯蔵品 | 909 | 1,943 |
| その他 | 1,611 | 2,330 |
| 貸倒引当金 | △127 | △178 |
| 流動資産合計 | 42,991 | 51,682 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 18,467 | 19,923 |
| 減価償却累計額 | △11,612 | △12,022 |
| 建物及び構築物(純額) | 6,854 | 7,900 |
| 土地 | 9,172 | 9,872 |
| その他 | 13,747 | 15,276 |
| 減価償却累計額 | △9,826 | △10,115 |
| その他(純額) | 3,920 | 5,161 |
| 減損損失累計額 | △611 | △667 |
| 有形固定資産合計 | 19,336 | 22,266 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 42 | 33 |
| その他 | 217 | 202 |
| 無形固定資産合計 | 259 | 236 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,362 | 6,426 |
| その他 | 3,512 | 3,175 |
| 貸倒引当金 | △238 | △265 |
| 投資その他の資産合計 | 9,636 | 9,336 |
| 固定資産合計 | 29,232 | 31,839 |
| 資産合計 | 72,224 | 83,521 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,552 | 15,363 |
| 短期借入金 | 4,007 | 5,169 |
| 未払法人税等 | 1,416 | 461 |
| 賞与引当金 | 609 | 926 |
| その他 | 4,398 | 5,070 |
| 流動負債合計 | 19,984 | 26,990 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 270 | 80 |
| 長期借入金 | 7,999 | 11,009 |
| 退職給付引当金 | 782 | 754 |
| 役員退職慰労引当金 | 159 | 143 |
| その他 | 2,396 | 2,232 |
| 固定負債合計 | 11,607 | 14,220 |
| 負債合計 | 31,592 | 41,211 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,298 | 4,298 |
| 資本剰余金 | 11,952 | 11,952 |
| 利益剰余金 | 21,956 | 23,393 |
| 自己株式 | △2,987 | △2,989 |
| 株主資本合計 | 35,220 | 36,654 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,324 | 1,374 |
| 繰延ヘッジ損益 | 38 | 62 |
| 為替換算調整勘定 | △258 | 15 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,104 | 1,452 |
| 少数株主持分 | 4,307 | 4,202 |
| 純資産合計 | 40,631 | 42,309 |
| 負債純資産合計 | 72,224 | 83,521 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 108,751 | 123,162 |
| 売上原価 | 90,242 | 104,202 |
| 売上総利益 | 18,509 | 18,959 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,865 | 15,263 |
| 営業利益 | 3,644 | 3,696 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 19 |
| 受取家賃 | 96 | 118 |
| 受取配当金 | 53 | 73 |
| 有価証券売却益 | 16 | 129 |
| 負ののれん償却額 | 42 | 42 |
| その他 | 228 | 244 |
| 営業外収益合計 | 454 | 626 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 104 | 109 |
| 持分法による投資損失 | 5 | 9 |
| 賃貸原価 | 45 | 48 |
| その他 | 59 | 112 |
| 営業外費用合計 | 214 | 279 |
| 経常利益 | 3,883 | 4,043 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | — | 112 |
| 受取補償金 | 49 | 53 |
| その他 | 14 | 15 |
| 特別利益合計 | 63 | 181 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 46 | 28 |
| 減損損失 | 19 | 120 |
| 店舗閉鎖損失 | 18 | 27 |
| ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額 | 100 | — |
| ゴルフ会員権評価損 | 10 | — |
| その他 | 0 | 35 |
| 特別損失合計 | 194 | 212 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,752 | 4,012 |
| 法人税等 | 1,788 | 1,699 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,963 | 2,313 |
| 少数株主利益 | 198 | 176 |
| 四半期純利益 | 1,765 | 2,136 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,963 | 2,313 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 226 | 51 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | 24 |
| 為替換算調整勘定 | 21 | 280 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1 | 4 |
| その他の包括利益合計 | 253 | 359 |
| 四半期包括利益 | 2,217 | 2,673 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,013 | 2,485 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 203 | 187 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------------------|--------------|--------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 食肉等の製 造・卸売事 業 | 食肉等の小 売事業 | 食肉等の外 食事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 87,035 | 15,156 | 5,436 | 107,628 | 1,123 | 108,751 | — | 108,751 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,599 | 14 | 86 | 4,700 | 48 | 4,749 | △4,749 | — |
| 計 | 91,634 | 15,171 | 5,523 | 112,329 | 1,172 | 113,501 | △4,749 | 108,751 |
| セグメント利益 | 3,467 | 699 | 236 | 4,402 | 8 | 4,411 | △767 | 3,644 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△767百万円には、セグメント間取引消去△44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------------------|--------------|--------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 食肉等の製 造・卸売事 業 | 食肉等の小 売事業 | 食肉等の外 食事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 101,426 | 14,871 | 5,740 | 122,038 | 1,123 | 123,162 | — | 123,162 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,812 | 30 | 124 | 4,967 | 103 | 5,070 | △5,070 | — |
| 計 | 106,239 | 14,901 | 5,865 | 127,006 | 1,226 | 128,232 | △5,070 | 123,162 |
| セグメント利益 | 3,520 | 587 | 343 | 4,451 | 72 | 4,524 | △828 | 3,696 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△828百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売事業」及び「その他」において、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売事業」8百万円、「その他」112百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「食肉等の製造・卸売事業」において、連結子会社株式の追加取得により112百万円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。